





審査結果報告書

平成 26 年 9 月 3 日

主 査	氏 名	馬 物 正 隆	
副 査	氏 名	隈 部 俊 宏	
副 査	氏 名	宮 岡 等	
副 査	氏 名	花 輪 壽 彦	

1. 申請者氏名 : 神應 知道

2. 論文テーマ : Yokukansan improves distress of medical staff, and cognitive function and motivation in patients with destructive and aggressive behaviors after traumatic brain injury
(抑肝散は頭部外傷後の破壊的、攻撃的な行動を呈する患者における認知機能、意欲、医療スタッフの苦痛を改善する)

3. 論文審査結果 :

申請者は頭部外傷後に破壊的・攻撃的な行動を呈する患者の治療で苦勞し、認知症患者の多動、攻撃性などを改善する抑肝散が、頭部外傷後の破壊的・攻撃的行動も抑制するのではないかと考え抑肝散の効果について検討した。

抗精神病薬で破壊的・攻撃的な行動をコントロールできなかった頭部外傷患者7例に抑肝散 7.5 g/日を連日投与したところ、神経症状を評価するNPI (Neuropsychiatric Inventory)、そのサブスケールである興奮性・攻撃性、脱抑制、認知機能を示すMMSE (Mini-Mental State Examination)、日常生活の機能評価を示すBI (Barthel Index)、意欲の評価を示すVI (Vitality Index) などが有意に改善した。さらに1例ではあるが、¹²³I-IMPによる脳血流シンチグラフィにおいても脳血流の改善を認めた。この効果は神経伝達物質の調整によるものであろうと動物実験などの論文考察から推察している。

抑肝散は、認知症での症状改善効果は報告されているが、頭部外傷後の破壊的・攻撃的行動の改善の報告はない。本論文は患者および医療者の安全確保の観点からも臨床的な意義は非常に大きく、審査の結果、本論文は学位論文に値すると判断された。